

おまえぎき



# 市議会だより

第30号

2011.10.11.12月

平成24年2月発行



撮影地：新谷地区



議長 後藤 憲志

新年あけましておめでとございます。

皆様には、新春をご家族お揃いで健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。日頃市議会に対しまして、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により、中部電力浜岡原子力発電所が全面停止され、また予定されていた6号機及びプルサーマル計画も不透明な状況になりました。これにより交付金事業も全て見直しを余儀なくされ、市の財政計画・総合計画に大変大きな影響を与えることになりました。これまで発電所の立地市として、比較的優位な財政状況の中、産業基盤、あるいは生活関連の社会資本整備の充実を図り、市民生活・福祉の向上に努めてまいりました。しかし、厳しい財政状況の中での中長期財政計画の見直しは、当然総合計画の事業の縮減にも繋がってまいります。また、このところの超円高による産業の空洞化が、市内経済に与える影響も心配され大変厳しい局面に入っております。

「今、御前崎市はどういう状況にあるのか」「今後どういう方向に進めていくのか、その方法は」「どんな御前崎市を作っていくのか、どうすればそれができるのか」もつ一度振り出しに戻って考え、市の将来に自信と希望を持てるよう、議会一丸となってこれらの課題に取り組んでまいります。

昨年は、議員定数・報酬の削減について、市民の皆様は大変ご心配をおかけしましたが、この度、御前崎市議会では「議会基本条例」の制定に向け、全議員を委員とする「議会改革特別委員会」を設置することになりました。「議会基本条例」は、開かれた市議会を目指して、議会及び議員の活動原則、市民と議会の関係、議会と行政の関係など議会のあり方を明らかにしていくものです。これを機に一層市民の皆様から期待される市議会となりますよう努力をしております。

結びに、市民の皆様にとって本年が良い年になりますことを心からお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。